

(仮訳)

「中央アジア＋日本」対話・第９回外相会合 共同声明

２０２２年１２月２４日、東京において「中央アジア＋日本」対話（以下「対話」という。）・第９回外相会合が開催され、林芳正外務大臣（議長）、トレウベルディ・カザフスタン共和国副首相兼外務大臣、クルバエフ・キルギス共和国外務大臣、ムフリッディン・タジキスタン共和国外務大臣、メレドフ・トルクメニスタン副首相兼外務大臣、ノロフ・ウズベキスタン共和国外務大臣（以下「閣僚」という。）が参加した。

閣僚は、対話の枠組みの下での様々な分野における現行の相互協力を再検討し、更なる互恵的な協力関係強化の展望を議論するとともに、地域的及び国際的課題について意見交換を行い、次のとおり表明した。

１ 閣僚は、外交関係樹立３０周年の機会に対面で会合を実施したことに満足を表明し、第９回外相会合の開催が、日本と中央アジア諸国との関係の前向きな発展を確認する上で重要な機会となったことを歓迎した。

閣僚は、これまでに築かれてきた友好と相互信頼に基づくパートナーシップ及び互恵的協力を更に深化させる意思を確認した。

２ 閣僚は、日本と中央アジア各国が過去３０年間にわたり実施してきた経済インフラの改善、保健・医療、環境、国境管理、農業、人材育成等の分野における協力の実績を確認した。

また、自由で開かれた中央アジアにおける持続可能な発展を達成するため、経済、社会及び人的交流における「人への投資」、並びに「成長の質」を重視し、新しいモデルに沿った協力を確立し発展させることを決定した。中央アジア諸国の閣僚は、人材育成奨学計画（ＪＤＳ）及び専門家育成を含むといった研修過程における日本の立場を歓迎した。

閣僚は、中央アジア地域の特筆すべき脆弱性を有する気候及び環境上の脅威及び課題との関連性に留意した。閣僚は、自由で開かれた中央アジアにおける持続可能な開発目標及びパリ協定の実施を達成するため、脱炭素化とグリーン成長に向けたものを含む新たな成長モデルに関する実務的な協力を強化することで一致した。

また、閣僚は、特定技能制度や技能実習制度等を通じて、中央アジアの人材が日本と中央アジアの更なる架け橋となることへの関心を表明した。

閣僚は、中央アジアにとって投資、貿易、デジタル連結性、保健、農業、教育・研究、水力エネルギー、気候変動及び海への出口を模索する運輸・物流の各分野での協力が重要であることで一致し、日本の官民調査団による「カスピ海横断国際輸送ルート」に関する調査結果について検討することに関心を表明した。

3 閣僚は、従来からの不安定化リスクへの対処のため、アフガニスタンを含む地域全体の安定化に資する、越境犯罪への対処の取組、国境管理と国境を越えた協力、麻薬対策における能力強化、テロ・過激主義の予防、中央アジア域内における能力構築支援及び域内の社会・経済インフラ整備の努力を強化する重要性につき一致した。また、閣僚は、社会・経済インフラの修復並びに民族集団、少数者、女子の人権状況改善を含むアフガニスタンの人道及び人権に関する状況、特に、今般のタリバーンによる女子高等教育を停止する決定と中等教育からの女子の排除の継続に関する共通の懸念について意見交換を行った。

閣僚は、テロ、戦争、麻薬のない、安全で、安定した、平和なアフガニスタンの発展を支持する。閣僚は、アフガニスタン社会の全ての要素の代表から成る包摂的な政府の樹立が不可欠であることを確認した。

4 閣僚は、世界のいかなる場所においても法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化するパートナーとしての相互協力の重要性を確認した。閣僚は、国連憲章及びその他の国際法、特に、全ての国の独立、主権及び領土一体性の尊重、武力による威嚇又は武力の行使の禁止、並びに、紛争の平和的解決の原則を堅持することへの継続的なコミットメントを表明した。

閣僚は、国際的な核軍縮・不拡散体制の礎石としての核兵器不拡散条約（NPT）の維持・強化の重要性に留意し、この目的のために引き続き共に取り組んでいくことで一致した。閣僚は、中央アジア非核兵器地帯条約の潜在力を最大化しようとする中央アジア諸国の取組に肯定的に留意した。

閣僚は、世界的なサプライチェーンの不安定の中で、食料、エネルギー及び物流の安全保障を確保することの重要性について一致し、その分野における協力の強化について議論した。また、閣僚は、経済的威圧を含む経済安全保障の課題に対処することにおける連携及び協力を強化することの重要性並びに透明かつ公正な開発金融の重要性を確認した。

閣僚はまた、国連安全保障理事会決議に従った北朝鮮の完全な非核化へのコミットメントを再確認し、拉致問題を含む国際社会が懸念する人道的問題の解決の重要性を強調した。

5 閣僚は、議会間交流、地域間交流、学術・文化交流を含む日本と中央アジア諸国の交流が進展していることを歓迎した。閣僚はまた、「中央アジア＋日本」対話の枠組みの更なる発展に向けて意見交換を行っていくことを決定した。

閣僚は、平和、安全及び安定を確保する国際的な交流のための効果的な手段の一つとして、議会間交流の重要性と潜在性が高まっていることに留意し、中央アジア諸国

と日本との間の議会間の交流フォーラムを設立するための取組を歓迎した。閣僚はまた、この文脈において、日本・中央アジア諸国友好議員連盟の設立を歓迎した。

6 閣僚は、カザフスタン共和国の、対話の次期議長国となり、対話の枠組みの下で第10回外相会合を開催するという意向を歓迎した。